宇宙開発委員会第１３回定例会議
議　事　次　第

1. 日　　時　　昭和５４年７月１８日（水）
　　午後２時～３時
2. 場　　所　　宇宙開発委員会会議室
3. 議　　題
　(1) 第４号科学衛星（ＣＯＲＳＡ－ｂ）の打上げ結果の評価について
　(2) 昭和５４年度８～９月期のロケット打上げ計画について
　(3) 国連宇宙空間平和利用委員会第２２期会合について
4. 資　　料

委１３－１　第１２回宇宙開発委員会（定例会議）議事要旨（案）
委１３－２　第４号科学衛星（ＣＯＲＳＡ－ｂ）の打上げ結果の評価について（報告）
委１３－３　昭和５４年度第１次観測ロケット実験計画概要（昭和５４年８月～９月）ＳＥＳノートＫ－№５７８
委１３－４　Ｌ－ＳＣ－５号機の実験ＳＥＳノートＫ－№５７９
委１３－５　ＴＴ－５００型ロケット６号機の実験打上げ計画書（昭和５４年８・９月期）
委１３－６　国連宇宙空間平和利用委員会第２２会期の結果について
参考配付　　Ｍ－３Ｃ－４号機実験報告書　ＳＥＳノート№８２

委13-1

第１２回宇宙開発委員会（定例会議）
議　事　要　旨（案）

1. 日　　時　　昭和５４年７月４日（水）午後２時～３時
2. 場　　所　　宇宙開発委員会会議室
3. 議　　題　　第二部会の審議結果について
4. 資　　料

　委１２－１　第１１回宇宙開発委員会（定例会議）議事要旨（案）

　委１２－２　宇宙開発委員会第二部会報告書（その１）

5. 出席者

宇宙開発委員会委員長代理	網島　毅
宇宙開発委員会委員	吉識雅夫
〃	八藤東福
〃	斎藤成文
説明者	
第二部会スペースシャトル分科会長	荒木　遜
関係省庁職員等	
科学技術庁研究調整局長	勝谷　保
〃　長官官房審議官	神津信男
〃　研究調整局調整課長	堀内昭雄
文部省学術国際局審議官	大崎　仁（代理：斎藤）
通商産業省機械情報産業局次長	杉山和男（代理：稲垣）
運輸省気象庁総務部長	相良英明（代理：山中）
郵政省電波監理局審議官	浜田　望（代理：九里）
文部省学術国際局	梅枝千城
東京大学宇宙航空研究所	秋元春雄
宇宙開発事業団システム計画部	久保園晃
〃　〃	大野信幸
事務局	
科学技術庁研究調整局宇宙企画課長	佐々木寿康
〃　〃　宇宙国際課長	佐藤允克
〃　〃　宇宙開発課長	鈴木　晃　他

6. 議事要旨

(1) 前回議事要旨

第１１回宇宙開発委員会（定例会議）議事要旨が確認された。

(2) 第二部会の審議結果について

吉識雅夫第二部会長及び荒木　遜第二部会スペースシャトル分科会長から資料委１２－２に基づいて説明が行われ、以下の質疑応答が行われたのち、報告書が了承された。

八藤：今後、国内の企業又は個人が内外の商社に依頼してスペースシャトルを利用する場合や、ＳＥＰＡＣのようにＮＡＳＡの公募（ＡＯ）に応じてスペースシャトルを利用する場合、それらをどのように取り扱うのかについて検討しておく必要がある。

吉識：今回の第二部会の審議は第一次材料実験に重点を置いて行つたため、それらの取扱いについては審議を行つていない。

網島：どこがスペースシャトル利用の窓口になるのかということは行政上の問題と思うが、今後、具体的な問題が発生した場合に委員会で検討することとしてはどうか。

斎藤：実験テーマ提案者が予備実験を自らの経費負担で行うこととされているが、これは資金面で苦しくなる場合も考えられ

るので、事務局はその点も十分考慮して第一次材料実験の実施に当たつて欲しい。

八藤：テーマの選定は宇宙開発事業団が一括して行うのか。

吉識：宇宙開発事業団だけで決めることは困難なので、委員会が何らかの方法で関与することが望ましいと思う。

テーマの選定の実施に当たつては、事前に検討しておくべきことがあると考えられるので、今後、委員会において審議を行う必要がある。